

## 「有」機農法と自然農法の違いで 苦しんでるのよね」

最近、ある集まりでパーマカルチャ  
ー（持続可能な農業をもとに自然との  
調和を目指す文化活動）の団体を運営  
する知人が漏らすのを聞きました。  
「え？ 有機農法と自然農法って同  
じじゃないの？」

「全然違うのよ。有機農法は農薬や化  
学肥料を使わないだけなんだけど、自  
然農法になると草刈りもしないし、人  
工物や肥料も一切使わないの。だから  
似ているように見えても作業が違うか  
ら、一緒に畑をやっているとぶつかっ

法然上人が念仏往生のための肝要を  
記した『念仏往生要義抄』のなかで「こ  
のたび輪廻の絆を離るる事、念仏に過  
ぎたる事はあるべからず。この書き置  
きたるものを見て、誹り謗ぜん輩も、  
必ず九品の台に縁を結び、互いに順逆  
の縁虚しからずして、一仏浄土の友た  
らん」と述べています。

これは、お念仏の信者にとって好ま  
しいご縁の方はもちろん、そうでない  
方（お念仏を非難する人）であっても、  
お念仏との縁を結んだなら極楽浄土に  
往生を遂げ、そこで互いに友となれる、  
という意味です。このご法語から私た

## 未来は善き縁が開かれる

ちやうのよ」と教えていただきました。

この世では農業に限らず、あらゆる  
分野において「似ているように見えて  
少し違う」ことがたくさんあります。  
実際、それらには多くの共通点があり  
ますが、両者が出合ったときに、そこ  
に着目して協力し合っているかという  
と必ずしもそうではなく、むしろ細か  
な違いを強調して対立する方が多いよ  
うな気がします。「互いに歩み寄りか  
大切」と頭では分かっても、それがで  
きないのが凡夫の性なのでしょう。か  
せっかくのご縁をわずかな違いで生か  
せないのはとても残念なことです。

ちは、その時には好ましくないと感じ  
るご縁も、後になってみれば「あれが  
自分にとって大切な縁だった」と思  
えることもある、ということを学べる  
のではないのでしょうか。

とするなら、自分と価値観が違う人  
と出会い、拒否反応が出た時こそお念  
仏のおとなえ時、そう言えるかもしれ  
ません。好ましくないと感じるご縁も  
その場で切り捨てることなく、「善き  
縁になるかも」と受け止めようとする  
ことが、融和と平和の未来を開くこと  
につながると思うのです。

（愛知県豊田市 弘誓院 秋田尚文）

Good encounters can lead you to a  
better future.

揮毫 大本山清浄華院  
第83世法主 飯田実雄台下